

## [1979]九州大学附属図書館概要

<https://hdl.handle.net/2324/2556638>

---

出版情報：九州大学附属図書館要覧. 1979, pp.1-, 1979. Kyushu University Library  
バージョン：  
権利関係：



九州大学

附属図書館概要

1979



九州大学

附属図書館概要

1979

# 目 次

I	組織・機構等	1
	中央図書館・医学分館・教養部分館の沿革(抄)	1
	附属図書館歴代館長	11
	歴代司書官・事務(部)長	12
	商議委員会名簿・運営委員会名簿	13
	事務組織図	15
	配置図と内線電話番号	16
II	蔵書	19
	蔵書冊数	19
	年度別蔵書冊数の推移	20
	年間受入図書冊数と雑誌種類数	21
	図書館資料購入費	23
	学内所蔵文庫一覧	24
III	利用統計	27
IV	施設の概要	33
V	利用案内の摘要	40
附	中央図書館・医学分館・教養部分館の昭和53年度年史と刊行物	44
	附属図書館と部局図書室の所在地及び代表電話番号	48

表紙：〈蒙古襲来画・絵詞 巻物上下2巻(九州大学中央図書館所蔵)〉中の元寇防塁(石塁)の部分。(今でも福岡市の百道，今宿，今津などに残っている)

# I 組織・機構等

## ☐ 中央図書館の沿革（抄）

- 明治 36. 4 京都帝国大学福岡医科大学創立（県立福岡病院を母胎とした京都帝国大学の分科の設置）
36. 4 福岡医科大学の図書（2011冊）も、京都帝国大学附属図書館の管理の下におかれる。
36. 7. 京都帝国大学附属図書館規則の改正により、福岡医科大学の図書の管理は「別ニ定ムル規程ニ依ル」こととなった。
- 41.11 図書閲覧室新築落成（木造平家延坪 174、煉瓦 2 階建延坪 30）
42. 9.20 附属図書館を開き、職員および学生に閲覧させる。
44. 1 九州帝国大学を福岡に設置。  
九州帝国大学工科大学が開設。
44. 4 京都帝国大学福岡医科大学は、九州帝国大学医科大学となる。
- 大正 4. 1 九州帝国大学所蔵の図書を、学内一般の利用に供するため九州帝国大学図書室規定が制定された。
11. 5 九州帝国大学官制が改正され（勅令第290号）、初めて官制による図書館長と司書が置かれることになる（附属図書館の名称も、この時はっきり官制の上に出る）
11. 7.17 初代図書館長任命される。  
図書館の建物は医学部構内の一室を事務室とし、一隅に書棚を置いて図書を管理していた。
13. 9 法文学部が箱崎地区に設置され図書室を置く。
14. 5 中央図書館の当時の職員：司書官（初代：竹林—14. 6. 29付け）司書 4 名。
14. 6 法文学部の建物と同時に本館と書庫が竣工し、医学部構内より移転する。  
本館は鉄筋コンクリート 2 階建延 327 坪、書庫、鉄筋コンクリート 4 階建延 408 坪；当時の蔵書数約 3500 冊（現在の保存図書館）
14. 7.25 「九州帝国大学附属図書館規則」および「附属図書館図書閲覧及検索ニ関スル規程」を制定。「九州帝国大学附属図書館商議委員会規程」をも制定。
- 14.11.24 第 1 回商議委員会（当時の学部は医・工・農・法文の 4 学部）

- の開催。（「図書取払手続ニ関スル件」および「図書館事務講習会開催ノ件」を審議）
- 14.12. 1 「広瀬文庫」の寄託を受ける（のち購入）
15. 3. 2 第2回商議委員会開催（「各学部ノ既往受入図書報告ノ件」および「各学部ノ学生参考用図書購入ニ関スル件」を審議）
15. 5.12 司書の定員が1人ふえて5名となる（九州帝国大学官制改正一勅令第118号）
- 15.11.26 第3回商議委員会開催（「総合目録印刷ノ件」「医・工・農学部、備付図書ノ件」を審議）
- 昭和 2.10.19~21 第4次帝国大学附属図書館協議会が本館において開催（大正13年6月に東京帝国大学において第1次協議会が開かれた。）
- 3~ 6 「寺尾文庫（音無文庫）」及び「萩野文庫」を購入。
8. 九州帝国大学図書目録（和漢書）と Catalogue of the Kyushu Imperial University Library（洋書）を刊行。
- 9.10.18~20 第11次帝国大学附属図書館協議会が本学工学部会議室において開催された。
11. 学術雑誌の目録 List of Scientific Reports and Periodicals を刊行。
16. 6 独・ソの開戦となり、ドイツ図書の輸入は途絶した。国内では新聞雑誌用紙の割当制限や出版物の統制が強化されて図書の購入も次第に困難となった。
- 16.12. 8 太平洋戦争に突入、燈火管制の強化にともなって中央図書館では、昭和17年早々に多額の経費をかけて暗幕が設備された。そして午後9時までの夜間開館を戦時中も中断することがなかった。
17. 3 「長沼文庫」を購入し、他の貴重図書とともに本館の書庫に別置。
- 17.10. 8 第24回商議委員会開催（「附属図書館防護施設に関する件」等が議題にあがった）
- 17.10.29~31 第19次帝国大学附属図書館協議会、本学工学部会議室において開催（七帝大、京城、台北の9館、28名が出席）
18. 6.22 第25回商議委員会開催（「新刊図書優先配給ノ件並同附帯事項ニ就イテ」を審議）
- 18.10 当時は司書掛と事務掛の二掛であった。
19. 6.27 第27回商議委員会で、図書の学外疎開を決定。
20. 8.15 終戦。
- 20.11~21. 1 学外疎開の図書が、全部無事に書庫にもどる。

21. 4. 1 帝国大学官制が公布され（勅令第 205 号），同時に九州帝国大学官制が廃止された。この新官制の公布により，図書館関係では，司書官，司書，書記の職種がなくなり，文部事務官に統一された。また身分も 1 級官，2 級官，3 級官の名にあためられた。
22. 2.23 附属図書館規則の一部が改正された（達第 2 号）。これは「学校の施設を一般に開放利用せしむる方途を講ぜよ」という文部省訓令に従って，福岡県立図書館が戦災を受けたので九州大学も市民の特殊研究者に閲覧や検索を許すことが考慮されたものである。
22. 8 米国教育文庫（American Education Library 略して AEL）が本館内に開設され各地区センターとして一般に公開された。
- 22.10 帝国大学令の一部が改正され（「教育基本法」および「学校教育法」が公布され大学令および学位令等が廃止）九州帝国大学は九州大学に改められ，図書館も九州大学附属図書館と改称された。
23. 6 受入掛が設置される。
24. 4 文部省令第 10 号をもって，法文学部を廃止，法学部，経済学部，文学部が設置された。
24. 5 学制改革に伴い（法律第 150 号をもって，国立学校設置法が公布され学校教育法による国立の大学として），新たに九州大学 8 学部が設置され，附属図書館も設置された。
24. 7 「細川文庫」を購入。
24. 7 一般教養課程を実施するため第 1 分校，第 2 分校及び第 3 分校を設置し，これ等分校にそれぞれ図書室を設置した。又第 2，第 3 分校には附属図書館（中央館）や各学部から数千冊の重複図書を移管した。
24. 9 庶務掛・目録掛が設置される。
- 24.10 附属図書館長選挙規則を制定。
- 24.11.28 九州大学附属図書館創立 25 周年記念式典挙行。
25. 9 閲覧掛が設置される。
26. 7.11 わが国最初の図書館法が公布（昭 25. 4. 30）され，司書・司書補の職制が法律の上で明文化されたのを機会に 6 大学では図書館法による司書講習会を計画し，九州大学では「図書専門職員九州大学養成講座」（司書・司書補および司書教諭）が実施された。続いて昭 27，28，30 年と 4 回開催。
- 27.10.14~16 第 26 次国立 7 大学附属図書館協議会を九州大学附属図書館に

- において開催。
31. 5 医学部50周年記念事業の1つとして医学部図書館の第1期工事が竣工し、その後第2期・第3期の増築工事が終り、鉄筋3階建、書庫5層；総延坪849坪の図書館が完成した。
31. 7.16 附属図書館医学部分館の設置が認可され、同時に分館長の発令も行われた。
- 31.9.30~10.2 第32次国立7大学附属図書館協議会が本館会議室において開催された。
- 31.10 文献複写業務の開始（マイクロフィルム・プリント）
34. 3.16 附属図書館教養部分館の設置が認可になり、同時に分館長の発令も行われた。
- 35.11 参考掛（現在の相互利用掛）が設置される。
36. 9 情報資料掛（現在の参考調査掛）が設置される。
36. 9 医学部分館に受入掛、目録掛、閲覧掛が設置される。
- 36.11 教養部分館に受入目録掛、閲覧掛が設置される。
37. 2 会計掛が設置される。
37. 4 開架閲覧室の開設。
37. 8 指定図書制度の導入（指定図書を備え付けた）
37. 特別図書購入費による図書を購入（初回）
38. 4 利用者の書庫内検索の開始。
38. 7 参考図書室の開設。
38. 9 新刊雑誌室の開設。
39. 1 電子複写機（エレファックス）によるコンテンツシートサービス開始。
40. 2 第1回新館建築計画委員会が開催された。
40. 4 部課制（1部2課7掛）となる。
40. 4 文献複写業務に電子複写機を導入。
40. 5 閲覧制度の改善（貸出券発行－旧記録式を廃止）
40. 9 図書館情報第1巻1号発刊。
40. 9.20 九州大学学術雑誌目録－自然科学欧文編－の刊行。
40. 9.28~29 第39次国立7大学附属図書館協議会が本部事務局第1会議室で開催。
- 40.12 文部省大学図書館視察委員の現地視察を受ける。
- 41.10.10 九州大学学術雑誌目録－人文科学欧文編－の刊行。
42. 1 九州大学図書館体系のマスタープランを作成。
42. 6 目録カードの複製のための高速度カード印刷機を導入。
42. 9 学内総合目録室の開設。

43. 5.16~17 第19回九州地区大学図書館協議会総会（九大記念講堂）開催。  
（九大当番館）
44. 5 第1回日米大学図書館会議（東京）に九州大学からも参加。
44. 7.1~8.10 大学紛争の中で中央図書館が「封鎖」された。
44. 8 指定図書室と一般閲覧室の冷暖房を設備。
45. 4. 1 医学部分館が医学分館に名称変更。
45. 4.16 「新図書館検討委員会」の設置。
45. 7 九州大学学術雑誌目録（和文編）の刊行。
- 45.12. 1 マイクロフイッシュ撮影装置によるサービス開始。
47. 1. 6 新図書館建築が着工された。
47. 6. 8~ 9 第19回全国国立大学図書館協議会総会開催（九大当番館）  
※（この会の発足経緯：昭和43年創立：第15次全国国立大学  
図書館長会議で決る）
- 47.10.17~20 第2回日米大学図書館会議（ウイスコンシン州ラシーヌ）に  
日本代表として九州大学より館長・整理課長出席）
- 47.11.10 新図書館（中央図書館）竣工。
48. 1.24~25 第46次国立7大学付属図書館協議会総会開催（九大当番館）
48. 2. 6 新図書館落成記念式典および祝賀会開催。
48. 3. 6 閲覧業務を開始。
48. 3. 8~15 農学部・理学部の図書資料を中央図書館へ移転開始。
48. 4. 3 理学部・農学部ともに閲覧業務を開始。
48. 9. 3 第100回図書館商議委員会開催（附属図書館運営規則の改正  
ならびに中央図書館利用規程の制定）
49. 1.17 旧図書館を「保存図書館」として運営開始。
49. 1.19 図書館運営連絡会（中央図書館，理学部，農学部）第1回。
49. 6 新中央図書館での時間外開館の開始。
49. 6 新中央図書館のブラウジングルーム開室。
49. 9 **Microfiche**のリーダープリンター引伸サービス開始。
- 49.11 新中央図書館の語学演習室を開室。
- 49.11 全学受入逐次刊行物の受入方法の標準化について逐刊物受入  
担当者懇談会（第1回）を開く。
50. 5.30 昭和50年度福岡県佐賀県大学図書館協議会総会を開催。  
（九大当番館）
51. 8 九州大学学術雑誌目録－欧文編1972－付：人文科学欧文編補  
遺1976－の刊行。
- 51~52 「支子文庫」（故 田村専一郎名誉教授旧蔵書）を購入。
52. 4 全学購入外国雑誌の一括購入の実施。

- 52. 5. 9 第7回九州地区国立大学図書館協議会総会開催（九大当番館）  
（\*この会の発足経緯：第1回，昭46.5，別府：九州地区大学図書館協議会の国立部会が独立した）
- 52. 5.10 第28回九州地区大学図書館協議会総会開催（九大当番館）
- 52. 7 文部省より自然科学系学術外国雑誌購入費第1種及び第2種（医学系）の予算配分を受ける。後者（第2種）については医学分館が「地域拠点」館としてこの予算による雑誌の収集・利用に当たることとなる。
- 52. 9 「保存図書館」の整備計画が決まる。

## ☐ 医学分館の沿革（抄）

- 昭和 22. 10 医学部中央図書室設置。  
（昭和2年以来同22年まで医学部の主な和洋書は公用図書として各教室においてそれぞれ保管し，僅かに新聞，雑誌類と学生参考書が医学部事務室所蔵として学生の閲覧利用に供せられ，掛員も医学部庶務掛の一員がこの整理と閲覧管理に当たっていたにすぎなかった）
- 22. 10 第18回医科大学附属図書館協議会開催（東北大学医学部）で九大医学部は13校目として正式加盟。
  - 22. 11 中央図書館より職員2名配置換（職員3名が決定）又，楠教授（2内科）が中央図書室監督に決定。
  - 23. 1 学生図書委員の協力を得て内科共同図書室より，医学部事務室（3階）に書庫，事務室及び閲覧室の移転を完了。
  - 23～ 米国図書館協会，ロックフェラー財団，その他海外からの好意で医学図書，雑誌，学位論文等の寄贈を受ける。中でもロックフェラー財団からの代表的医学雑誌の寄贈は3ヶ年も継続された。 — 後は本学で購入継続。
  - 26. 10 第22回日本医学図書館協議会総会を熊大，長崎大，九大の3館で共催。
  - 27. 12 医学部中央図書室の図書整理とサービス強化のため各教室図書係が輪番制で事務に従事することを決める。

28. 九大医学部の創立50周年記念事業の一つとして医学部中央図書館の建設を企画する。
30. 医学部中央図書館の第1期工事に着工。
31. 5 // の1階事務室と書庫5層が完成。
31. 7 医学部中央図書室は医学部事務室から新館へ移転。
- 31.7.16 九州大学附属図書館医学部分館制の認可があり、同時に初代分館長の発令も行われた。
32. 3 医学部分館の第2期工事の増築工事で2階の一般閲覧室、雑誌閲覧室、3階の特別閲覧室、1階の館長室、文献複写室、資料展示室のすべてを完成。
- 32.5.3 医学部分館の竣工式をかねた開館式を行う。
- 32.6.4 第1回医学部分館図書委員会開催（新分館の運営規則等を審議）
- 32.6.14 第5回九州地区医学図書館協議会総会開催（九大当番館）（第1回、昭28.5長崎大で開催）
- 34.4～ China Medical Board of New York, Inc. から、新刊医学単行書を8年間にわたって継続寄贈された。
- 34.11.17～第30回日本医学図書館協会総会開催（九大当番館）（第1回、昭2年、新潟医大で開催）
35. 5 雑誌費を増額（和雑誌3点、洋雑誌61点分）
36. 2 医学部分館の第3期工事として書庫の増築、資料展示室の整備が完成（China Medical Board of New York, Inc. の追加援助金）
36. 3 書庫増築完成祝賀会で分館長が資料の中央化の協力を要請。
36. 9 医学部分館の定員制（分館専任職員）の確立、3掛（受入、目録、閲覧）を設置。
37. 3 医学部雑誌目録 欧文編の刊行。
37. 5 医学部分館の視聴覚室（特別閲覧室を改造）を整備。
38. 4 医学部雑誌目録 和文編の刊行。
- 4 指定図書制度を導入。
38. 12 時間外開館の延長（2時間を4時間）実施。
- 38 文献複写の申込をUCLAに直接できるようになる。
39. 4 図書の分類を日本十進分類法（NDC）から米国医学図書館分類法（NLMC）に切り替える（1955年以降）  
件名目録を新設（MeSH、と九大医学件名標目表を使用）
39. 7 Floor Plan の変更（2階閲覧室を雑誌閲覧室に、3階閲覧室を、単行本閲覧室に）

39. 9 全館オープンシステムへの発足。
40. 4 電子複写機による文献複写サービスを開始。
40. 8 閲覧方式の改善（入館券と借出券を発行）
41. 4 医学部の図書行政全般の実態を把握し改善するため「図書館白書」（昭和40年度小沼医学図書館賞を受賞）を作成。
- 41.8.29 日本医学図書館協会主催 昭和41年度第1回医学図書館員研究集会西日本集会の開催（九大会場）
41. 11 薬学部（旧医学部薬学科）が設置される。
42. 5 Current Contents の複製業務を分館も中央館と分担実施。
- 42.5.9 第15回九州地区医学図書館協議会総会開催（九大当番館）
42. 6 歯学部（旧医学部歯学科）が設置されたが図書行政はそのまま医学部分館に残る。
43. 2 コンテンツシートサービス（C.C.未掲載の和洋雑誌287点）を開始。
43. 4 レファレンス・コーナーを設置。
- 44.7.28～ 大学紛争で医学部分館が「封鎖」された。
44. 医学件名標目表 第2稿・1970が昭和44年度小沼医学図書館賞を受ける。
- 45.4.1 単独学部（医学部）のための図書館から医・歯・薬3学部のための図書館として機能・性格が拡大したことに伴い、医学部分館を医学分館と改称（文部省訓令第17号）
48. 4 Index Medicus を使用してSDI（manual方式の文献検索）サービスを開始。
48. 5 医療技術短期大学部（昭46.4設置）の図書行政を医学分館で引き受ける。
- 48.6.8 第21回九州地区医学図書館協議会総会開催（九大当番館）
49. 6 文献複写業務を業者依託に切りかえる。
52. 1 分館の書庫が狭隘になったため図書の1部を旧心療内科病棟に移す。
52. 7 自然科学系学術外国雑誌購入費（第2種）の予算配分を医学系全国サブセンター館として受ける。

## ◇ 教養部分館の沿革（抄）

- 大正 10. 11 旧制福岡高等学校の設立（勅令第43号）  
11. 4 木造2階建の校舎が竣工。  
11. 7 鉄筋コンクリート2階建の書庫を竣工。  
12. 8 講堂及び図書閲覧室を竣工し、図書館業務を開始した。
- 昭和 5. 3 玉泉館（考古学資料約6,000点、古文書約4,000点を収蔵した九大教養部歴史資料展示室である）を開設。  
22. 3 教育基本法及び学校教育法公布で新学制実施。  
24. 5 「それぞれの包括する学校の課程を存置する」（国立学校設置法附則第3の規程）とされたから、当時は九州大学福岡高等学校と称していた。  
24. 7～ 第1分校（市内六本松）、第2分校（久留米市）および第3分校（久留米市）を設置。  
25. 3 旧制福岡高等学校を閉じる。  
26. 4 第3分校を廃止。  
30. 10 第1分校、第2分校が廃止統合されて九州大学分校となる。  
31. 3 建坪22坪二階建の事務室、教官閲覧室と建坪三層の書庫が増築され、運営を開始。  
31. 3 図書の運用面では教官閲覧室に基本参考図書類を備え、学生閲覧室にはカウンターを作って奉仕活動を改善した。  
31. 4 図書の整理面で旧制福岡方式から分類は日本十進分類法、目録記入は日本目録規則（NCR）を採用することに改めた。  
34. 3 九州大学附属図書館教養部分館制度が認可され、同時に分館長の発令も行われた。  
36. 11 図書掛が業務主任のもとに受入目録掛と閲覧掛の2掛制になった。  
36. 12 教養部分館運営委員会規程制定。  
37. 1 教養部分館運営規則改定。  
37. 10 隣接の講堂を学生閲覧室に改造し、従来の学生閲覧室は指定図書制度を採用するため開架閲覧室として開室。  
38. 4 指定図書制度を導入。  
39. 4 旧制福高時代（昭34年）からの図書を中心とする、再分類作業5ヶ年計画を実施。  
40～41 旧書庫の整備（移動式スチール製書架に切換える）  
40. 9 学生用雑誌コーナーの新設。  
40. 9 複写室を図書館内に移転し複写業務（校費払のみ）を開始。

- 41. 4 教養部分館運営規則一部改正。
- 41. 6 書庫を学生に開放。
- 41. 10 玉泉館を学生に開放。
- 42. 4 閲覧方式一部改正（入館者を制限）
- 42. 9 教養部分館文書処理細則の制定。
- 43. 8 再分類作業終了。
- 43. 10 漢籍目録編纂に着手。
- 43. 10 福岡県大学図書館協議会地区研究会の当番館となる。
- 44. 2 分館長選挙内規の制定，分館運営委員会内規の改定。
- 46. 3 漢籍目録の刊行。
- 47. 3 三苦家文書目録の刊行。
- 47. 6 福岡アメリカセンターから図書の寄贈を受ける。
- 48. 9 文部省から指定図書費を受ける。
- 49. 9 //
- 49. 4 ブラウン方式登録制度を採用。
- 51. 9 教官に対する学内共通帯出券の発行。
- 52. 5 教養部分館新建築の概算要求を提出。
- 52. 6 受入掛，目録掛，閲覧掛の3掛制となる。
- 52. 9 アジア財団からアメリカ研究図書の寄贈を受ける。

## ◻ 附属図書館歴代館長 等

### ◇ 中央図書館歴代館長

			(就任)	(退任)
(現在) 教授	岡 村 繁	(文学部)	昭和52. 7.16~	
(初代) //	小 川 政 修	(医学部)	大正11. 7.17~	14. 4.20
//	長 壽 吉	(法文学部)	14. 4.20~	昭和 2. 5.27
//	佐久間 鼎	( // )	昭和 2. 5.27~	4. 6.18
//	長 壽 吉	( // )	4. 6.18~	6. 7.11
//	豊 田 實	( // )	6. 7.11~	9. 2.23
//	西 山 重 和	( // )	9. 2.23~	11. 3. 2
//	春 日 政 治	( // )	11. 3. 2~	13. 4. 2
//	佐 野 勝 也	( // )	13. 4. 2~	15. 4.18
//	干 潟 龍 祥	( // )	15. 4.18~	17. 4.20
//	竹 岡 勝 也	( // )	17. 4.20~	19. 5.18
//	楠 本 正 繼	( // )	19. 5.18~	21. 6. 4
//	進 藤 誠 一	( // )	21. 6. 4~	23. 6.15
//	金 田 平一郎	(法学部)	23. 6.15~	24.10. 7
//	進 藤 誠 一	(事務取扱文学部)	24.10. 7~	24.12.20
//	古 野 清 人	(文学部)	24.12.20~	28.12.23
//	栗 村 雄 吉	(経済学部)	28.12.23~	32.12.23
//	青 山 道 夫	(法学部)	32.12.23~	36.12.23
//	北 川 敏 男	(理学部)	36.12.23~	42.12.22
//	伊 藤 不 二 男	(法学部)	42.12.22~	45. 2. 8
//	高 木 暢 哉	(経済学部)	45. 2. 9~	48. 2. 8
//	松 浦 良 平	(理学部)	48. 2. 9~	49. 7.16
//	田 中 武 英	(工学部)	49. 7.16~	52. 7.15

### ◇ 医学分館歴代館長

			(就任)	(退任)
(現在)教授	山元寅男	(解剖学)	昭和53. 4. 1~	
(初代) 〃	問田直幹	(生理学)	昭和31. 7.16~	36. 7.15
〃	宮崎一郎	(寄生虫学)	36. 7.16~	39. 3.31
〃	倉恒匡徳	(衛生学)	39. 4. 1~	43. 3.31
〃	田中潔	(薬理学)	43. 4. 1~	49. 3.31
〃	後藤昌義	(生理学)	49. 4. 1~	53. 3.31

### ◇ 教養部分館歴代館長

			(就任)	(退任)
(現在)教授	中村正夫	(社会)	昭和53. 4. 2~	
(初代) 〃	石中象治	(独語)	昭和34. 3.16~	36. 3.15
〃	徳永新太郎	(社会)	36. 3.16~	37. 3.31
〃	西尾陽太郎	(人文)	37. 4. 1~	41.11.30
〃	石蔵甚平	(物理)	41.12. 1~	44. 3.31
〃	浜一衛	(中国語)	44. 4. 1~	48. 3.31
〃	白水隆	(生物)	48. 4. 1~	50. 3.31
〃	西原忠毅	(英語)	50. 4. 1~	51. 4. 1
〃	三上正利	(人文)	51. 4. 2~	53. 4. 1

### ◇ 歴代司書官・事務長・事務部長

			(就任)	(退任)
司書官	竹林熊彦		大正14. 6.29~	昭和14.10.11
	鋤柄和太郎 (兼)		昭和 2. 1.29~	2. 1.31
	竹岡勝也 (兼)		3. 8.18~	4. 6.21
	武藤智雄 (兼)		3. 8.18~	15. 9.18
	田中鐵三 (兼)		14. 8.14~	14. 8.15
	櫻井匡 (事務取扱)		14.11. 8~	15. 2.24

櫻井 匡	15. 2.24~	22. 7.21
清川 陸男	16. 3.26~	16. 3.27
長澤 由次郎	22. 7.10~	25. 2.28
岩猿 敏生	25. 8. 5~	31. 4. 1
事務長 船越 惣兵衛	昭和24.10.31~	40. 3.31
事務部長 船越 惣兵衛	40. 4. 1~	44. 3.31
山崎 正	44. 4. 1~	45. 3.31
中村 讓	45. 4. 1~	53. 4. 1
	(昭和50. 6.16~53. 4. 1休職)	
長尾 公 司	50. 6.16~	52. 3.31
岡田 六 郎	52. 4. 1~	54. 4. 1
沙藤 隆 茂	54. 4. 1~	

## ◻ 商議委員会・運営委員会 委員名簿

### ◆ 附属図書館商議委員会委員名簿

(昭和54. 5. 1現在)

委員長	館長	岡村 繁
委員 (医)	医学分館長	山元 寅男
” (養)	教養部分館長	中村 正夫
” (文)	教 授	稲垣 良典
” (〃)	”	西田 越郎
” (育)	”	成瀬 悟策
” (〃)	”	高野 桂一
” (法)	”	谷川 栄彦
” (〃)	”	手島 孝
” (経)	”	大屋 祐雪
” (〃)	”	川端 久夫
” (理)	”	松田 博嗣
” (〃)	”	大槻 昭一郎
” (医)	”	遠藤 英也
” (歯)	”	太田 雅博
” (〃)	”	高濱 靖英

委 員	(薬)	教 授	川 崎 敏 男
〃	(〃)	〃	吉 村 英 敏
〃	(工)	〃	安 浦 亀之助
〃	(〃)	〃	高 柳 素 夫
〃	(農)	〃	平 嶋 儀 宏
〃	(〃)	〃	土 屋 圭 造
〃	(養)	〃	上 野 清太郎
〃	(応)	〃	中 村 泰 治
〃	(生)	〃	宮 武 修

### ◆ 医学分館運営委員会委員名簿

(昭和54. 5. 1 現在)

委 員 長	分 館 長	山 元 寅 男	(解 剖 学)
医学部委員	教 授	遠 藤 英 也	(癌研化学)
〃	〃	大 槻 磐 男	(臨床薬理学)
〃	〃	大河内 一 雄	(中 検)
〃	〃	徳 永 皓 一	(心臓外科学)
歯学部委員	〃	太 田 雅 博	(口腔生理学)
〃	〃	高 浜 靖 英	(歯・矯正)
薬学部委員	〃	川 崎 敏 男	(植物薬品化学)
〃	〃	吉 村 英 敏	(衛生化学)
短大委員	〃	土 居 平	(社会 学)
〃	〃	澤 江 義 郎	(血 清 学)

### ◆ 教養部分館運営委員会委員名簿

(昭和54. 5. 1 現在)

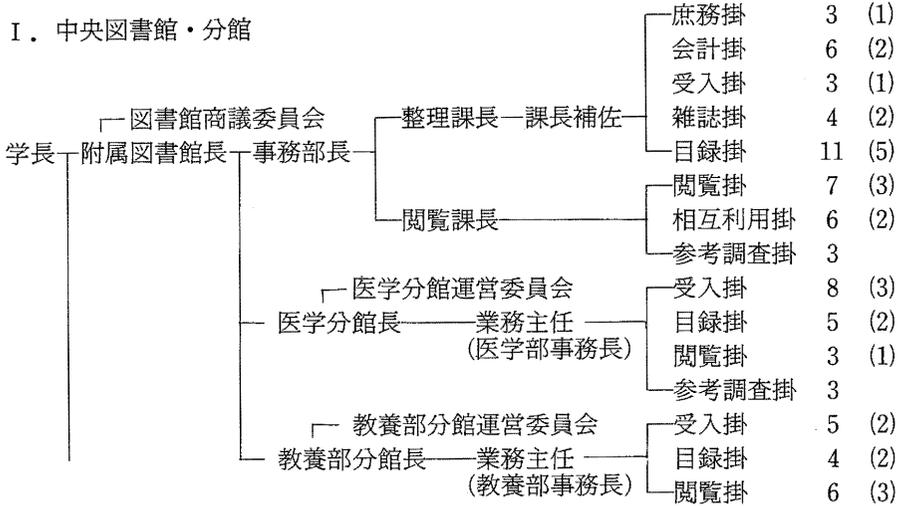
委 員 長	分 館 長	中 村 正 夫	(社会 学)
委 員	教 授	猪 城 博 之	(倫 理 学)
〃	〃	大 原 長 和	(法 律 学)
〃	〃	上 村 弘 雄	(独 語)
〃	〃	上 野 清太郎	(数 学)
〃	〃	村 瀬 一 郎	(化 学)
〃	〃	浦 田 英 夫	(地 学)

# 事務組織図

昭和54.5.1現在

職員数

## I. 中央図書館・分館



## II. 部局図書室

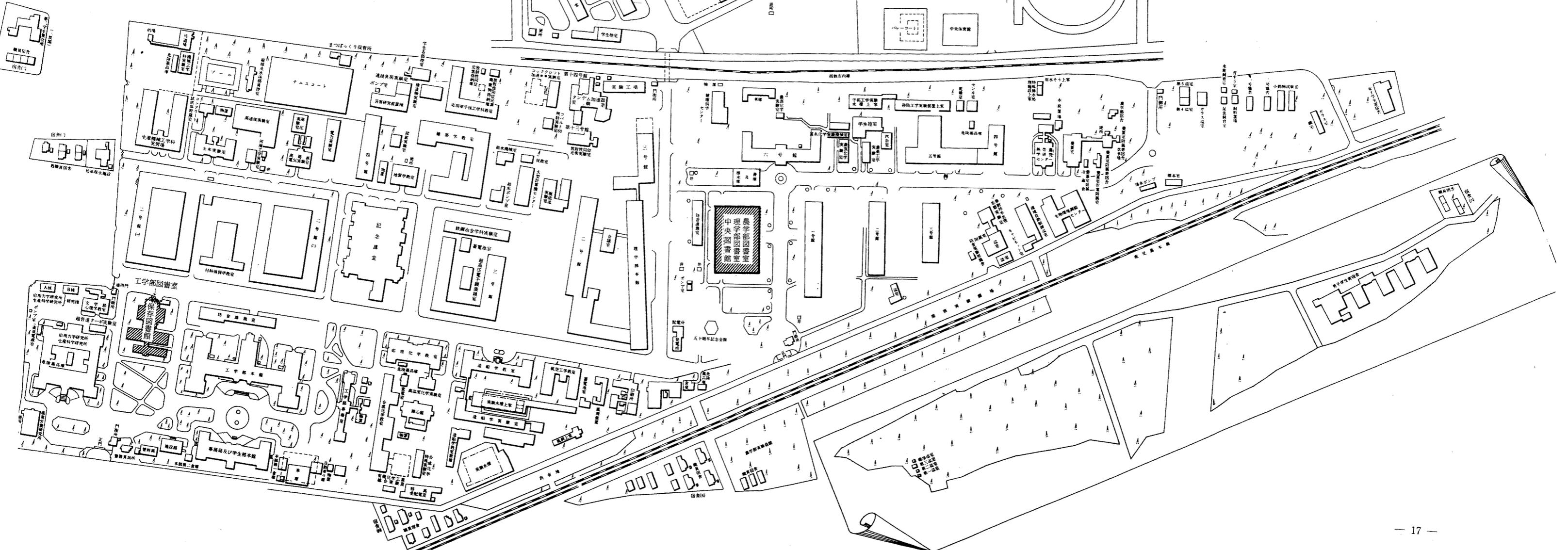
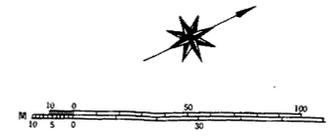
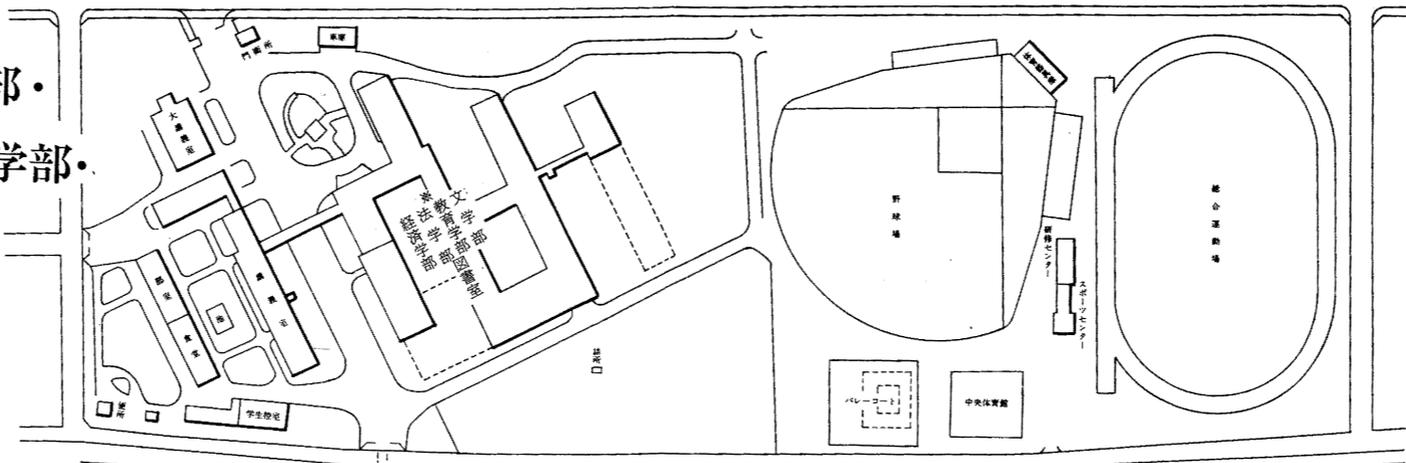
文学部長	文学部図書掛	6 (2)
教育学部長	教育学部図書掛	5 (2)
法学部長	法学部図書掛	8 (1)
経済学部長	経済学部図書掛	10 (1)
石炭研究資料センター長	図書室	1
理学部長	理学部図書掛	8 (2)
農学部長	農学部図書掛	11 (4)
薬学部長	図書室	2
工学部長	工学部図書掛—19学科等図書室	27 (4)
大学院総合理工学研究科長	図書室	1 (1)
温泉治療学研究所長	図書室 (別府市)	1
応用力学研究所長	図書室	4 (3)
生産科学研究所長	図書室	1 (1)
大型計算機センター長	図書室	1 (1)
[健康科学センター]		
[事務局]		
	計	163-(5)=112
		定員数

( )内は非常勤職員数 (内数)

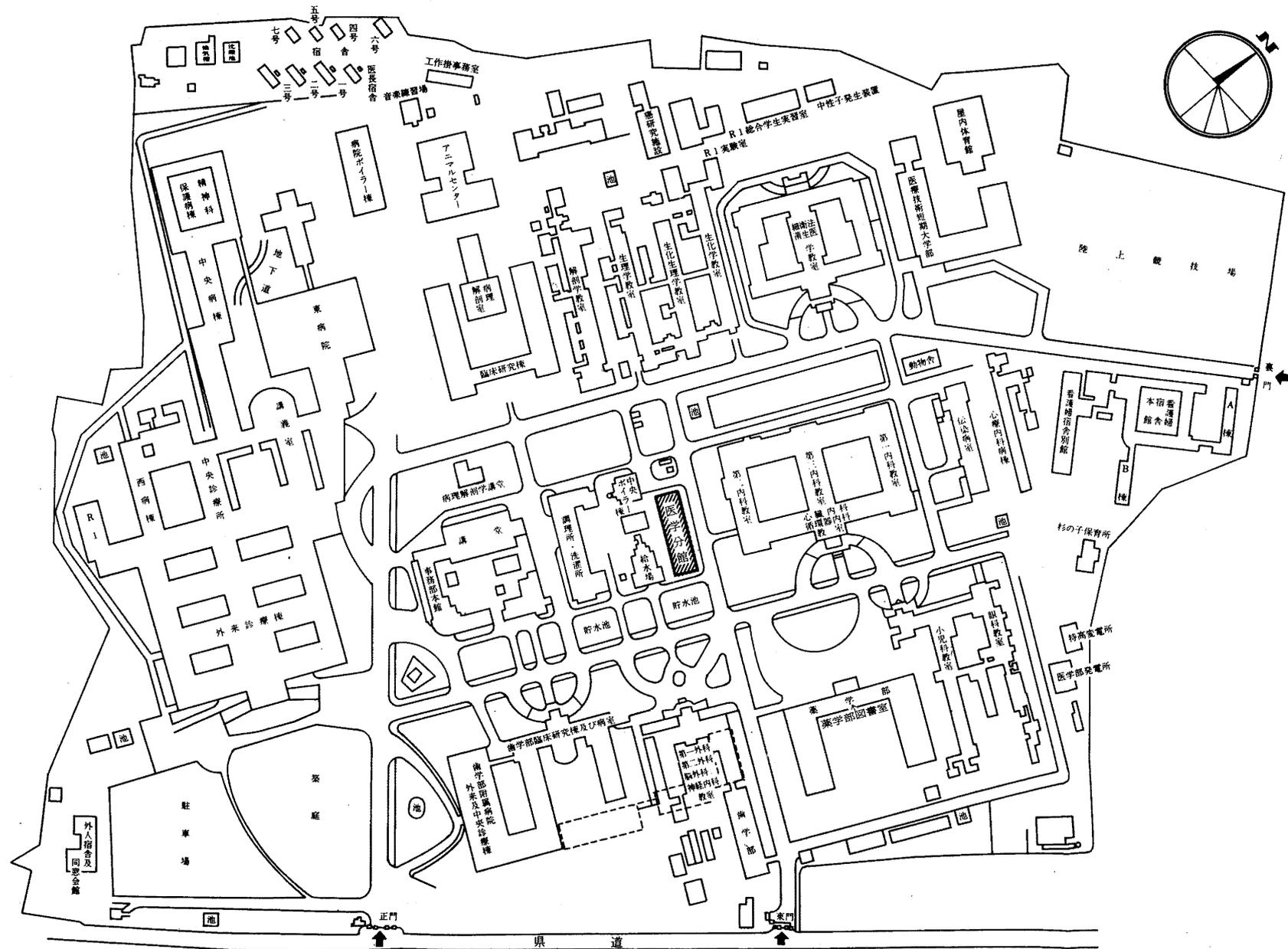
## ◆ 配置図と内線電話番号

- 中央図書館** 館長 5300 事務部長 5301 整理課長 5302 閲覧課長 5307  
整理課長補佐 5312  
庶務掛 5303,5313 会計掛 5304,5311 受入掛 5305,5271  
雑誌掛 5315,5272 目録掛 5306,5316 閲覧掛 5308,5318  
相互利用掛 5309,5319 参考調査掛 5310,5317
- 医学分館** 分館長 3120 業務主任 3101 受入掛 3121,3122  
(局番 8 -) 目録掛 3123,6254 閲覧掛 3194,6252  
参考調査掛 3194,6252
- 教養部分館** 分館長 256 業務主任 201 受入掛 221,379  
(局番 7 -) 目録掛 222 閲覧掛 223,224,225
- 文学部図書室** 5106,5107,5255  
**教育学部図書室** 5155,5325  
**法学部図書室** 5206,5207,5190  
**経済学部図書室** 5227,5228,5369  
**理学部図書室** 4108,4500,4501  
**農学部図書室** 4469,4400,4538,4539,4540  
**工学部図書室** 3512  
**薬学部図書室** 4110  
(局番 8 -)
- 応用力学研究所図書室** 3806  
**生産科学研究所図書室** 3856  
**大型計算機センター図書室** 6120,2259  
**石炭研究資料センター** 5248  
〔温泉治療学研究所 (別府24-5301) 275〕

九州大学箱崎地区本部・中央図書館・文学部・  
 教育学部・法学部・経済学部・理学部・工学部・  
 農学部・建物配置図 (昭53.4.1現在)

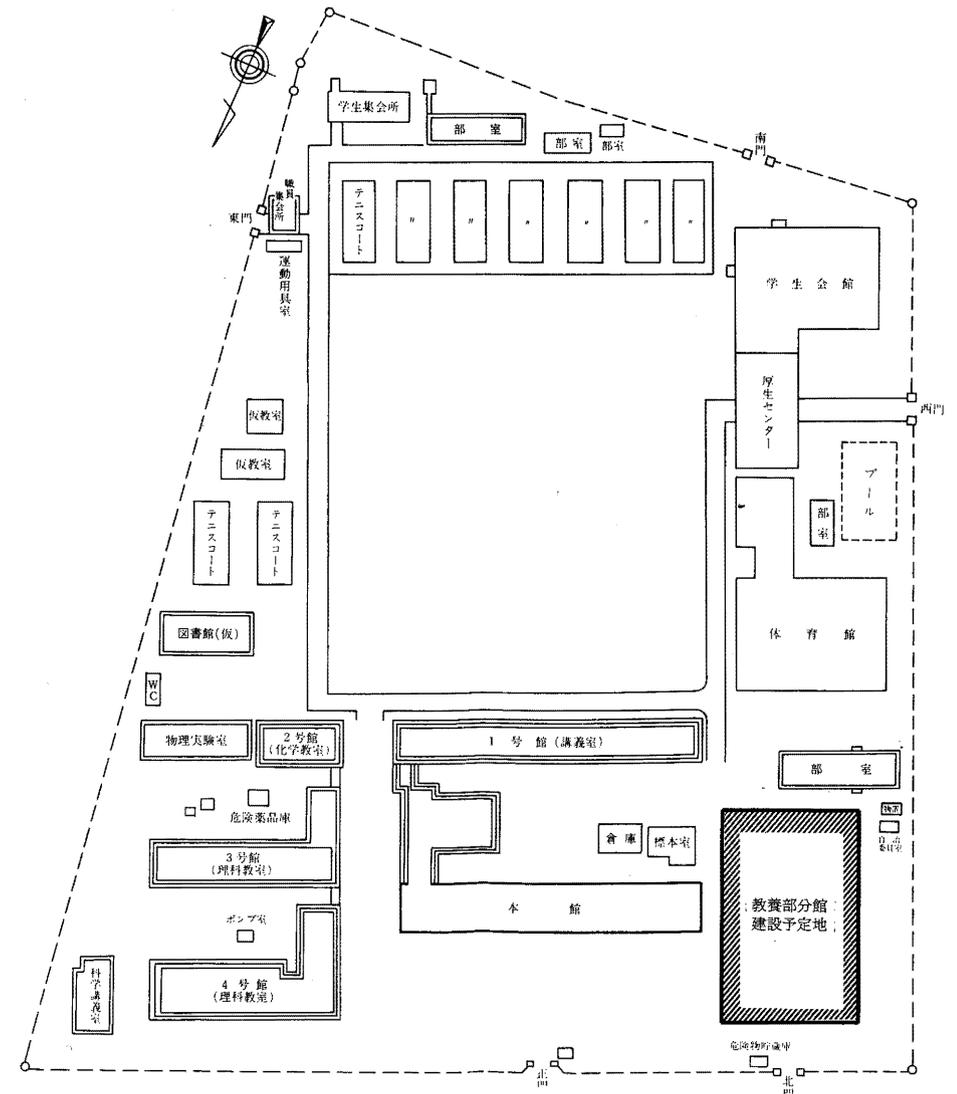


# 九州大学病院地区医学分館・医学部・歯学部・薬学部建物配置図



# 九州大学六本松地区教養部分館・

## 教養部建物配置図



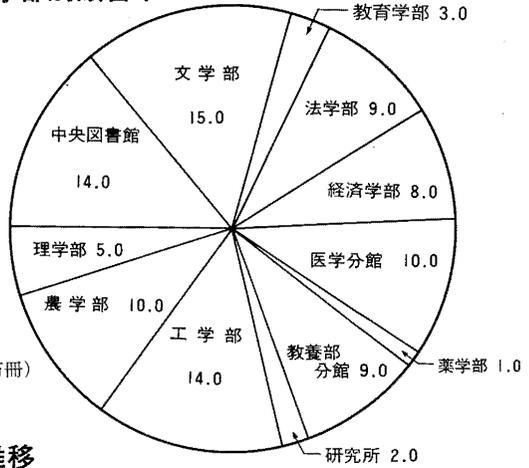
## II 蔵 書

### ◆ 蔵書冊数

昭54. 3. 31現在

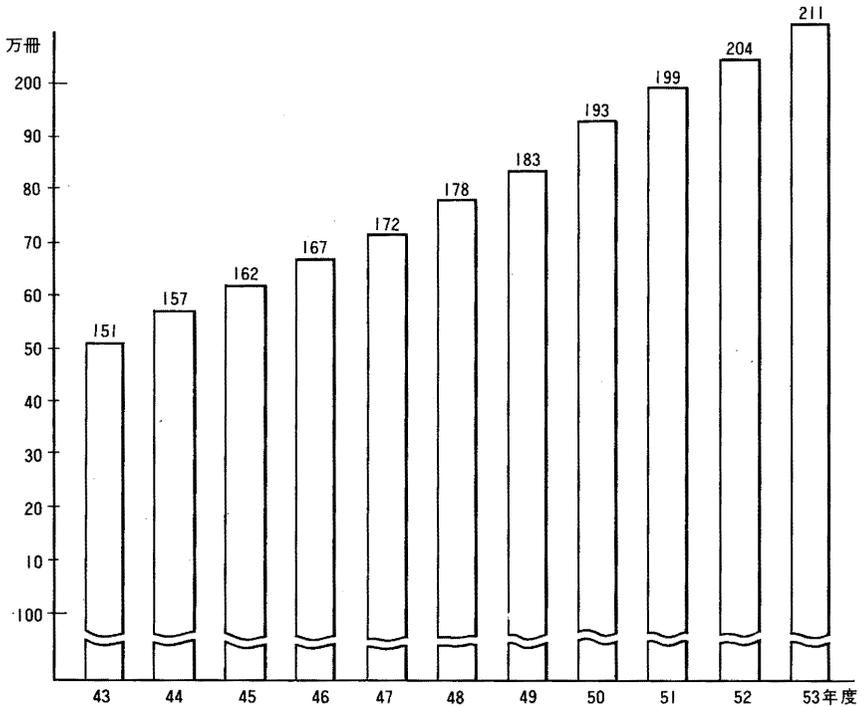
所 蔵 箇 所	和 漢 書	洋 書	計
中 央 図 書 館	230,220	54,211	284,431
事 務 局	3,130	419	3,549
健康科学センター	840	209	1,049
文 学 部	206,267	98,370	304,637
教 育 学 部	27,342	30,452	57,794
法 学 部	88,286	111,971	200,257
経 済 学 部	90,363	66,746	157,109
石炭資料センター	16,980	2,796	19,776
理 学 部	28,086	74,887	102,973
農 学 部	108,325	107,338	215,663
<b>小 計</b>	<b>799,839</b>	<b>547,399</b>	<b>1,347,238</b>
医 学 分 館	98,422	121,795	220,217
薬 学 部	4,403	9,449	13,852
教 養 部 分 館	132,173	64,539	196,712
工 学 部	102,899	144,220	247,119
総 理 工	18,546	22,044	40,590
温 研	4,410	4,390	8,800
応 力 研	12,775	12,350	25,125
生 産 研	3,752	5,191	8,943
大型計算機センター	920	876	1,796
<b>合 計</b>	<b>1,178,139</b>	<b>932,253</b>	<b>2,110,392</b>

◆ 昭和53年度 部局・学部別蔵書率



保存図書館（昭和53年11月現在約38万冊）

◆ 年度別蔵書冊数の推移



昭和54.3.31現在

◆ 年間受入図書冊数 (昭和53年度)

所 蔵 箇 所	和 漢 書		洋 書		計	
		(購入分)		(購入分)		(購入分)
中央図書館	6,628	4,818	4,018	3,738	10,640	8,550
事務局	16	16	2	2	—	18
健康科学センター	—	—	—	—	—	—
文学部	4,892	3,613	2,148	1,752	7,040	5,365
教育学部	1,003	790	1,412	1,124	2,415	1,914
法学部	3,072	1,828	1,976	1,682	5,048	3,510
経済学部	3,429	2,758	2,653	2,289	6,082	5,047
石炭資料センター	606	—	7	—	613	—
理学部	613	364	2,403	1,187	3,016	1,551
農学部	2,830	2,075	1,549	1,079	4,379	3,154
小 計	<b>23,089</b>	<b>16,262</b>	<b>16,168</b>	<b>12,853</b>	<b>39,257</b>	<b>29,115</b>
医学分館	1,681	1,185	2,412	948	4,093	2,133
薬学部	162	53	850	83	1,012	136
教養部分館	5,128	4,802	3,808	2,922	8,936	7,724
工学部	3,451	2,572	4,416	1,918	7,867	4,490
総理工	91	91	86	86	177	177
温 研	108	63	308	7	416	70
応力研	1,010	514	472	302	1,482	816
生産研	135	104	330	75	462	179
大型計算機センター	112	44	61	38	173	82
合 計	<b>34,967</b>	<b>25,690</b>	<b>28,911</b>	<b>19,232</b>	<b>63,878</b>	<b>44,922</b>

◆ 年間受入雑誌点数 (昭和53年度)

所 蔵 箇 所	和 雑 誌		欧 文 雑 誌		計	
		(購入分)		(購入分)		(購入分)
中 央 図 書 館	1,449	210	490	230	1,939	904
事 務 局	263	263	187	187	450	450
健康科学センター	9	9	5	5	14	14
文 学 部	1,172	146	382	315	1,554	461
教 育 学 部	375	101	187	179	562	280
法 学 部	480	83	343	271	823	354
経 済 学 部	638	158	292	218	930	376
石炭資料センター	239	33	14	12	253	45
理 学 部	1,071	184	1,630	645	2,701	829
農 学 部	1,213	496	1,027	589	2,240	1,085
<b>小 計</b>	<b>6,909</b>	<b>1,683</b>	<b>4,557</b>	<b>2,651</b>	<b>11,466</b>	<b>4,334</b>
医 学 分 館	716	322	1,182	1,097	1,898	1,419
薬 学 部	101	19	110	100	211	119
教 養 部 分 館	618	273	499	492	1,117	765
工 学 部	867	342	1,032	1,001	1,899	1,343
総 理 工	145	60	316	216	461	276
温 研	132	53	113	94	245	147
応 力 研	580	93	397	194	977	287
生 産 研	335	10	79	77	414	87
大型計算機センター	20	20	12	12	32	32
<b>合 計</b>	<b>10,423</b>	<b>2,884</b>	<b>8,297</b>	<b>5,939</b>	<b>18,720</b>	<b>8,823</b>

◆ 図書館資料購入費（昭和53年度）

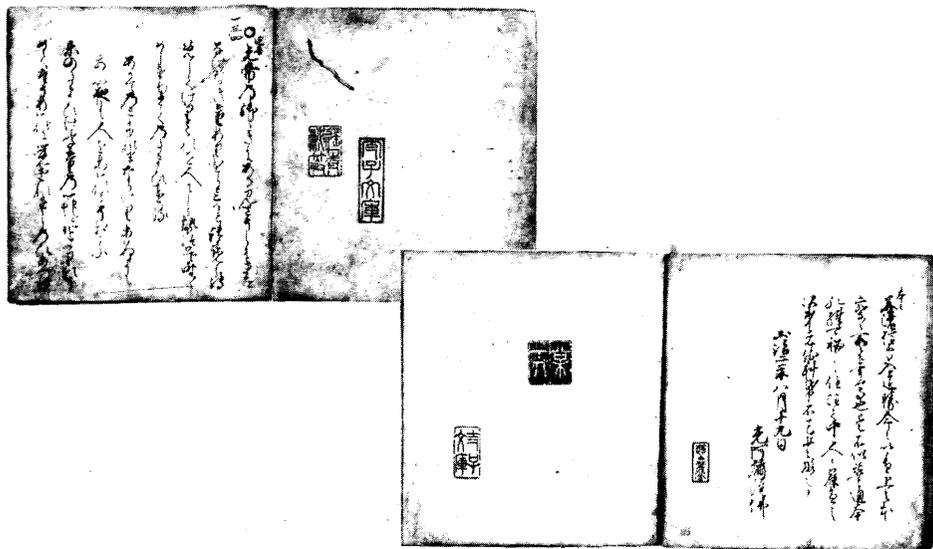
（単位：千円）

部 局	合 計	函 書	雑 誌	その他
中 央 図 書 館	105,391	90,930	13,774	687
事 務 局	5,916	1,524	4,392	0
健康科学センター	826	0	826	0
文 学 部	32,874	26,123	6,751	0
教 育 学 部	11,243	7,325	3,918	0
法 学 部	27,828	19,382	4,165	4,281
経 済 学 部	39,434	28,308	9,899	1,227
石炭資料センター	2,611	2,016	595	0
理 学 部	50,759	15,339	35,420	0
農 学 部	44,428	17,558	26,870	0
小 計	<b>321,310</b>	<b>208,505</b>	<b>106,610</b>	<b>6,195</b>
医 学 分 館	76,100	19,795	55,358	947
薬 学 部	8,237	786	7,451	0
教 養 部 分 館	53,771	32,608	20,504	659
工 学 部	79,974	22,251	57,157	566
総 理 工	2,925	957	1,968	0
温 研	3,647	585	3,062	0
応 力 研	14,951	4,989	9,962	0
生 産 研	5,167	1,097	4,070	0
大型計算機センター	1,165	416	398	351
合 計	<b>567,247</b>	<b>291,989</b>	<b>266,540</b>	<b>8,718</b>

◆ 学内所蔵主要文庫一覧

名 称	冊 数	所蔵部局	由 来	内 容 の 概 要
広瀬文庫	10,804	中央図書館	中央図書館に寄託されていた「私立福岡図書館」の蔵書を戦後まもなく購入したもの	哲学, 国史, 国文関係資料
萩野文庫	7,383	〃	故萩野由之教授(東大)の旧蔵書	国史関係資料
音無文庫	13,792	〃	天文学者故寺尾寿寿士の旧蔵書	国史, 国文関係資料
碩水文庫	2,991	〃	平戸藩の儒者楠本碩水氏の旧蔵書	中国哲学関係資料
長沼文庫	791	〃	長沼賢海名誉教授の旧蔵書	日本を中心とする東洋の文化史関係の資料(洋書)
細川文庫	713	〃	宇土細川家の旧蔵書	国文関係(貴重書「吾妻鏡伏見版」等を含む)資料
支子文庫	約10,000	〃	故田村専一郎名誉教授の旧蔵書	国史, 国文関係資料
ペラ文庫	約3,800	〃	故Charles Perrat教授(フランス国立古文書学校)の旧蔵書	西欧中世史関係資料
筑紫文庫	3,279	文学部	豊田実名誉教授の旧蔵書	英学史関係資料
中山文庫	4,633	〃	故中山森彦名誉教授中山平次郎元教授(医)の旧蔵書	美学, 美術史, 考古学関係資料
雪山文庫	779	〃	故雪山俊夫教授(京大)の旧蔵書	ドイツ中世文学, 語学関係資料
坐春風文庫	1,356	〃	ロックフェラー財団の援助により故楠本正継名誉教授が主宰された宋明思想の研究用図書	宋明思想研究関係資料
成瀬文庫	2,138	〃	故成瀬正一名誉教授の寄贈書	フランス文学, 語学関係資料
松濤文庫	12,612	〃	故松濤泰庵名誉教授の旧蔵書	仏典とくに縁山活字本

名 称	冊 数	所蔵部局	由 来	内 容 の 概 要
富田文庫	約 600	文 学 部	故富田仙之助氏の旧蔵書	狂歌の集書としては他に比類をみない
武内文庫	約 600	〃	武内継治氏の寄贈書	経書が主である
渡辺文庫	71	教育学部	故渡辺誠教授の旧蔵書	比較教育関係資料
西山文庫	1,568	法 学 部	西山重和名誉教授の旧蔵書	国際私法の古典洋書(貴重書)が多い
信夫文庫	2,854	〃	信夫清三郎名誉教授(名古屋大学)の寄贈書	近代日本政治史に関する資料
菊池文庫	2,775	〃	故菊池勇夫名誉教授の旧蔵書	労働法, 社会法, 法哲学に関する資料
具島文庫	3,036	〃	具島兼三郎名誉教授の旧蔵書	現代国際政治に関する資料
国際文庫	769	〃	九州国際文化協会の寄贈書	第二次大戦時における極東地域の政治・外交・文化にまたがる資料
桑木文庫	約 5,000	理 学 部	故桑木或雄名誉教授の旧蔵書	科学史全般の内外資料
西欧農学 古典文庫	869	農 学 部	故小出満二教授, 故木村修三名誉教授の寄贈図書に農学部の西欧農学書を加えたもの	近代農学成立期における西欧農学書
J. L. Buck Library	161	〃	J. L. Buck, A. B. Lewis 両博士のご配慮による米国経済文化会議からの寄贈書	アメリカの大学試験場等における農業経済, マーケティング研究報告双書
湯川文庫	31	〃	故湯川又夫名誉教授記念事業基金による購入図書	自然科学関係資料
奥田文庫	85	〃	奥田讓名誉教授の寄贈書	自然科学関係資料
金原文庫	378	工 学 部 (応理)	故金原誠教授の旧蔵書	数学関係資料



◆ 大和物語（支子文庫本）重要文化財

— 梶型（15.5×14.2cm）1冊，綴帖装，墨付78丁，

料紙鳥の子，雲母引き，内容は下巻—

大和物語は平安時代中頃作られた和歌を中心とした説話集で伊勢物語とともに人々に愛好された。九州大学中央図書館にある本は、勝命本と呼ばれる異本系統の現存最古のものとして近年学界に紹介された古写本である。\*「本書の価値の第一は、書写年代のずば抜けた古さにあり、正治二年（1200）写本の転写本であるが、書体などからみて、正治年間からさほど年代は下らず鎌倉初中期は間違いない。従来大和物語諸本中の最古の写本は、弘長元年（1261）写の為家筆本とされてきたが、本書はそれよりも古い写しなのである。価値ある第二点は、その本文である。大和物語の本文は定家本が流布し、別に六条家本系統がある。もっとも同系統の天文七年（1538）の写本が先年珍籍として学界に紹介され、影印本も出ているが、本書はそれに比して書写の古さと言うまでもないが、本文の正誤、気品の高下、おのずから格段の差を有している。」本書は九大教授であった故田村専一郎教授の所持本で、その蔵書「支子文庫」と共に九州大学中央図書館に寄贈され、後重要文化財の指定を受けたものである。

\* 昭和53年5月11日開学記念行事で図書館に貴重図書を展覧した際の大和物語の解説（文学部 今井源衛教授）より引用

### III 利用統計

#### 中央図書館(含：理学部・農学部)利用統計(昭和53年度)

開館日数 (時間外開館日数)

273日 (188日)

時間外開館実施期間

4月11日～7月8日

9月11日～12月16日 (平日 17:00～19:00)

1月16日～3月17日 (土曜日 12:30～14:00)

利用対象者数 12,637名 (教職員 2,460名, 学生 10,177名)

図書館登録者数 5,537名 (教職員 1,072名, 学生 4,465名)

入館者数(年間) 265,913名 { 時間内 244,391名 }  
 { 時間外 21,522名 }

一日平均入館者数 974名 { 時間内 895名 }  
 { 時間外 114名 }

#### 貸出総合利用統計(中央図書館・理学部・農学部)

摘要	貸出人員	貸出冊数
中央図書館	16,019	22,951
理学部	18,967	29,962
農学部	6,457	10,655
合計	41,440(名)	63,568(冊)

一日平均 152名 233冊

#### 身分別貸出者数及び冊数

(中央図書館・理学部・農学部)

利用対象	事項	人数	冊数
学	生	20,703	25,772
院	生	12,385	23,752
教	職員	7,252	12,272
そ	の他	1,100	1,774
計		41,440	63,568

## 貸出総合利用(時間内・外)統計

(中央図書館・理学部・農学部)

摘要	貸出人員(計)		貸出冊数(計)			
中央図書館	時間内	12,283	16,019	時間内	17,645	22,951
	時間外	3,736		時間外	5,306	
理学部	時間内	16,475	18,967	時間内	26,278	29,962
	時間外	2,492		時間外	3,684	
農学部	時間内	5,544	6,454	時間内	9,242	10,655
	時間外	910		時間外	1,413	
合計	時間内	34,302	41,440	時間内	53,165	63,568
	時間外	7,138		時間外	10,403	

## 文献複写統計表 (中央図書館)

事項 種別		電子複写		引伸		
		件数	枚数	件数	B 5 枚数	B 4 枚数
学 内	校費	479	10,101	13	100	655
	私費	602	8,019	23	87	433
学 外	公費	871	49,266	1	0	33
	私費	1,487	42,812	2	2	544
合計		3,439	110,198	39	189	1,665

事項 種別		マイクロフィッシュ撮影		
		件数	タイトル	フィルム
学 内	校費	6	66	656
	私費	—	—	—
合計		6	66	656

レファレンス・サービス統計表 (中央図書館)

身分	件数
学生 (院生)	2,366
教職員	1,225
学外者	362
計	3,953

調査	件数
所在調査	2,014
事項調査	581
利用指導	1,183
その他	175
計	3,953

その他の利用統計 (中央図書館)

保存図書館		特別閲覧室 (貴重図書の間)	演習室	AVブース
件数	冊数			
129件	252冊	27件	38件	1,613件

◇ 医学分館 利用統計 (昭和53年度)

開館日数 (時間外開館日数)

277日 221日

時間外開館実施期間

4月3日～7月8日 (平日: 17:00～19:00)

9月11日～12月16日 (土曜日: 12:30～15:00)

1月16日～3月31日

利用対象者数 4,491名 (教職員 2,450名, 学生 2,041名)

図書館登録者数 2,289名 (教職員 1,536名, 学生 753名)

入館者数 (年間) 43,383名 (時間内 37,571名)

(時間外 5,812名)

一日平均入館者数 156.6名 (時間内 135.6名)

(時間外 26.3名)

貸出利用統計

摘要	貸出人員	貸出冊数
医学分館	19,317	37,700
一日平均	69.7名	136.1冊

身分別貸出者数及び冊数

事項 利用対象	人 数	冊 数
学 生	5,909	9,036
院 生	1,925	3,922
教 職 員	11,483	24,742
そ の 他	—	—
	19,317	37,700

貸出利用（時間内・外）統計

摘要	貸出人員 (計)		貸出冊数 (計)	
	医学分館	時間内	15,559	時間内
時間外		3,758	時間外	8,798
		19,317		39,700

文献複写統計表

種別	事項	件 数	枚 数
学 内	校 費	979	22,684
	私 費	19,654	90,274
学 外	公 費	1,562	11,059
	私 費	13,353	73,294
合 計		35,548	197,311

レファレンス・サービス統計表

身 分	件 数
学 生 (院生)	—
教 職 員	20,084
学 外 者	—
計	20,084

調 査	件 数
所 在 調 査	14,995
事 項 調 査	21
利 用 指 導	356
そ の 他	※ 4,712
計	20,084

その他利用統計

保存図書館

件数 55件

冊数 61冊

※ 文献調査

(SDI&RS) の件数

◻ 教養部分館 利用統計 (昭和53年度)

開館日数 (時間外開館日数)

229 日 186 日

時間外開館実施期間

4月11日～7月10日 (平日:17:00～19:00)

9月2日～2月24日 (土曜日:12:30～15:00)

月 日～ 月 日

利用対象者数 15,938名 (教職員11,473名, 学生4,465名)

図書館登録者数 673名 (教職員20名, 学生653名)

入館者数 (年間) 86,016名 (時間内77,414名)

(時間外 8,602名)

一日平均入館者数 377名 (時間内 340名)

(時間外 37名)

貸出利用統計

摘 要	貸 出 人 員	貸 出 冊 数
教養部分館	6, 1 1 1 名	1 5, 4 2 9 冊

一 日 平 均

2 7 名

6 8 冊

身分別貸出者数及び冊数

利用対象	事項	人 数	冊 数
学 生		3, 7 5 7	3, 9 5 6
院 生		—	—
教 職 員		2, 3 5 4	1 1, 4 7 3
そ の 他			
計		6, 1 1 1	1 5, 4 2 9

貸出利用（時間内・外）統計

摘 要	貸出人員 (計)		貸出冊数 (計)		
教養部分館	時間内	5,501	6,111	時間内	13,887
	時間外	610		時間外	1,542
					15,429

文献複写統計表

種別	事項	件 数	枚 数
学 内	校 費	4 3 7	4 6, 5 6 6
	私 費		
学 外	公 費		
	私 費		
合 計		4 3 7	4 6, 5 6 6

レファレンス・サービス統計表

身 分	件 数
学 生	1,700
教 職 員	1,740
学 外 者	191
計	3,631

調 査	件 数
所 在 調 査	1,403
事 項 調 査	886
利 用 指 導	1,126
そ の 他	216
計	3,631

## IV 施設の概要



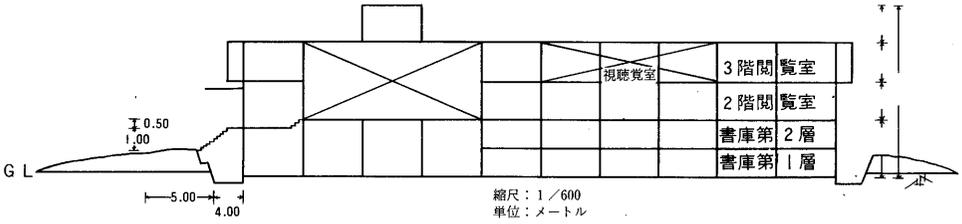
### 中央図書館

施設 (鉄筋3階, 半地下1階, 書庫2層, 延8,059.73m<sup>2</sup>)

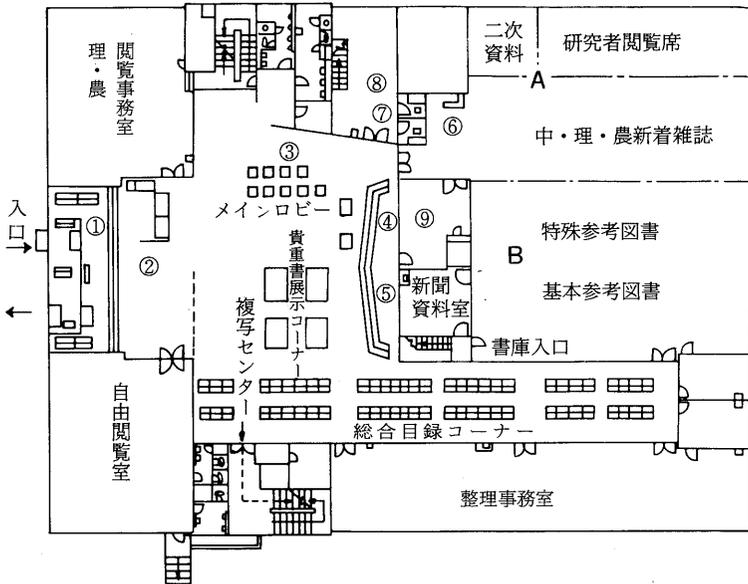
閲覧室	含	玄関と2階ホール 特別閲覧室 研究者個室(2) AVブース 演習室	2,501.366
書庫	含	(貴重書庫)	2,572.04
事務室			1,265.994
会議室			202.823
目録コーナー			237.49
マイクロ撮影室等			52.87
情報管理関係室	含	(電算機室)	366.99
AC機械電気関係室			332.8
廊下その他			527.357
			<hr/> 8,059.73

◆ 館内案内図

断面図

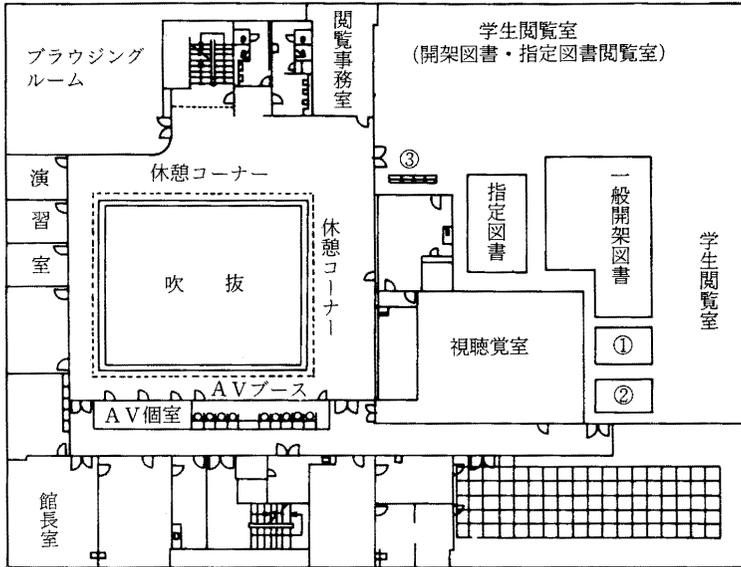


2階平面図



- ①ロッカー                      ②インフォメーション・デスク                      ③新聞閲覧コーナー
- ④中央図書館カウンター                      ⑤理農カウンター
- ⑥レファレンス・デスク                      ⑦個室（2室）                      ⑧特別閲覧室
- ⑨理農複写室
- A 研究者閲覧室                      B レファレンス・ルーム

### 3階平面図

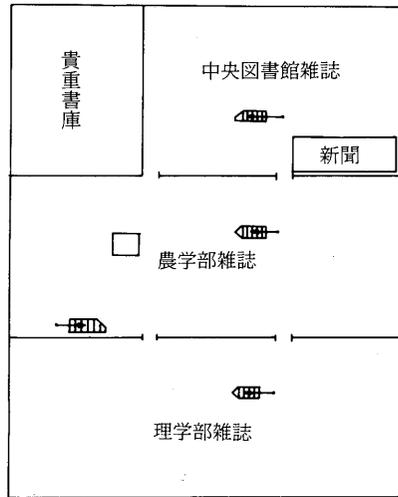


①中央図書館新着和雑誌コーナー ②法学資料コーナー ③閲覧用カード目録

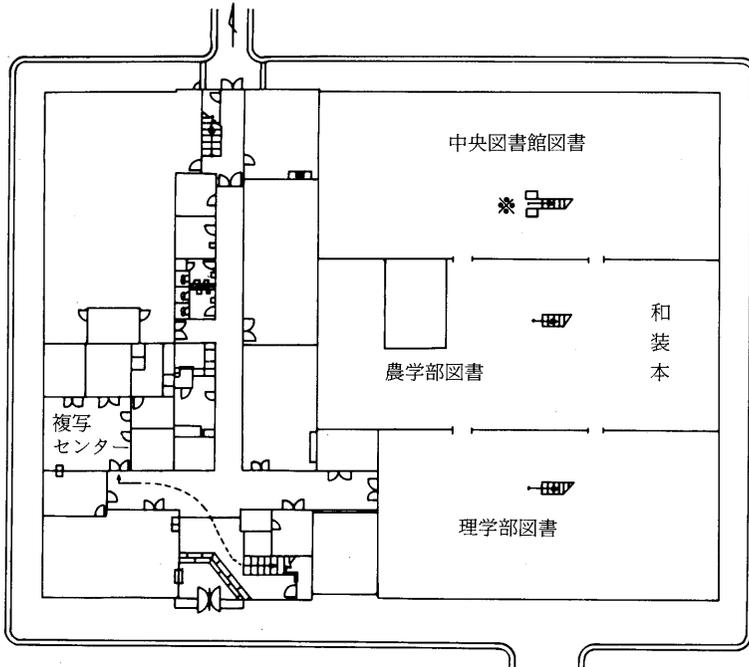
### ◆ 館内座席数

学 生 用	{	開架指定図書閲覧室 (3階)	223席
		自由閲覧室 (2階)	76席
教 職 員 用	{	研究者閲覧室 (2階)	54席
		レファレンスルーム (2階)	41席
(新聞資料室4席を含む)			
共 用	{	ホール(休憩コーナー) (3階)	30席
		〃 (2階)	35席
		ブラウジング・ルーム (3階)	34席
		書庫 キャレル (1層)	20席
		〃 (2層)	19席
そ の 他	{	A・Vブース (3階)	20席
		演習室(ABC) (3階)	30席
		視聴覚室兼会議室 (3階)	78席
		小会議室 (3階)	15席
		特別閲覧室 (2階)	6席
		個室と(貴重書庫内) (2階)	3席
計			684席

書庫平面図  
(第2層)



複写センター及び書庫 平面図 (第1層)



※保存図書館 和書目録



## ◻ 保存図書館 (旧 中央図書館)

◆ 施設 (鉄筋2階, 書庫4層, 延 3,032m<sup>2</sup>)

ここには利用度の低い図書・雑誌などが全学から集められている。

収蔵冊数 (昭和53年12月現在) 約38万冊

### 内 訳

中央図書館	69,800	(和洋図書, ロシヤ語雑誌, 官報, 特許公報, 朝鮮本等)
医学分館	66,500	
文学部	150,000	(古文書)
法学部	3,370	(和書)
経済学部	8,403	(和洋図書)
理学部	19,000	(重複図書, 雑誌類)
工学部	47,825	(図書・雑誌)
応力研	6,900	(図書・雑誌)
生産研	3,800	(図書・雑誌)

計 375,598



## ❖ 医学分館

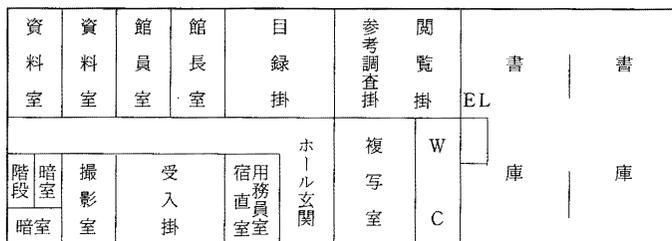
◆ 施設 (鉄筋3階, 書庫5層, 延 2,802㎡)

書庫	1,287㎡	撮影室	}	47
閲覧室	624	印刷室		
目録コーナー	16	視聴覚室		53
事務室	342	資料室		46
会議室	81	その他		306

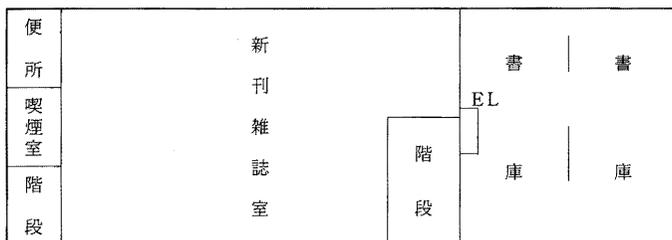
## ◆ 館内座席数

2階 新刊雑誌室	43席	3階 開架図書室	83席
参考図書コーナー		一般図書コーナー	
参考書誌コーナー		指定図書コーナー	
新着雑誌コーナー		新聞閲覧室	

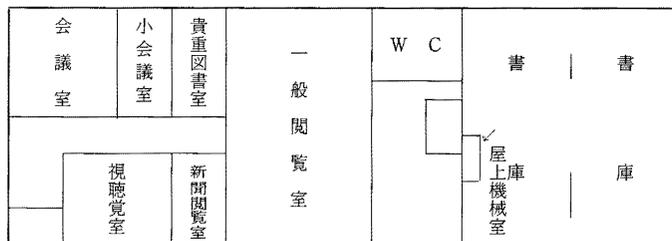
## ◆ 館内案内図



1 階 平面図



2 階 平面図



3 階 平面図

## ◆ 教養部分館

現在新建築中である 完成予定 昭和55年 3月  
 計画 (施設: 鉄筋3階 書庫2層 延5,155㎡)

## V 利用案内の摘要

### 中央図書館(理・農)・医学分館・教養部分館利用案内

館名 事項	中央図書館 (理・農を含む)	医学分館	教養部分館
利用者	本学の学生,教職員,名誉教授,その他館長が特に許可したもの		
開館時間	平日 9:00~20:00 土曜日 9:00~16:30 ただし,春季,夏季及び冬季の各休業期間は 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00	平日 9:00~20:00 土曜日 9:00~15:00 ただし,夏季及び冬季の各休業期間は 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00	平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00 休業期間を除いて (平日 9:00~18:00) (土曜日 9:00~13:00) の開館時間延長を実施,その外臨時に休館や開館時間の変更をすることがある。
休館日	① 日曜日,国民の祝日に関する法律に基づく休日 ② 開学記念日(5月11日),毎月1日(但し第1日が日曜日の時は,その翌日) ③ 年末年始	① 日曜日,国民の祝日に関する法律に基づく休日 ② 開学記念日(5月11日),毎月1日(但し第1日が日曜日の時はその翌日) ③ 年末年始	① 日曜日,国民の祝日に関する法律に基づく休日 ② 開学記念日(5月11日),毎月1日(但し第1日が日曜日の時はその翌日) ③ 年末年始,その他教養部学年歴に定める休業日
入館手続	学生は学生証を提示。教職員は入館券(帯出券発行手続の登録の時発行)を提示。	学生は学生証を提出。教職員は登録して発行された入館券を提出。	学生は学生証を提示。教職員は身分証明書を提示。
登録と館外貸出	登録— <u>学生証又身分証明書</u> を持参して帯出券の交付を受ける。  3枚 { 理学部 8枚 但し { 農学部 4枚 (教職員 8枚)	登録— <u>学生証又身分証明書と写真</u> を持参して貸出券(教職員は同時に入館券)の交付を受ける。3枚	登録— <u>学生証又身分証明書と印鑑</u> を持参して貸出券の交付を受ける。3枚

館名 事項	中央図書館 (理・農を含む)	医学分館	教養部分館
館外貸出期間 (特例を除く)	一般図書 8日間  保存図書館の図書の利用については「保存図書館・図書利用申込書」に希望図書を記入して閲覧カウンターに申込む。	一般図書 8日間 指定図書 {平日16:00~翌日13:00 {金曜日16:00~月曜日13:00	書庫内図書(1冊) 開架室図書及び雑誌 (2冊以内)} 8日間
禁帯出図書	◇貴重図書◇参考図書資料(辞書,索引,抄録,人名録など) ◇指定図書 ◇最新年分の雑誌(理・農は最新年度の雑誌)	◇貴重図書◇参考図書資料◇指定図書(複本を除く) ◇最新号の雑誌	◇貴重図書◇参考図書資料 ◇最新号の雑誌
資料の閲覧方式	自由接架方式 (全館完全開架)	自由接架方式 (全館完全開架)	
資料の配架	◇開架指定図書閲覧室 学生用図書をNDCの分類順に配架 指定図書を学部学科で配架*(法学関係雑誌コーナーもある) ◇ブラウジングルーム 美術書類,総合雑誌,文芸雑誌などを配架 ◇研究者閲覧室・レファレンスルーム 新着学術雑誌を誌名のABC順に配架 二次資料コーナーに索引・抄録誌を配架 参考図書資料を主題別に配架	◇三階閲覧室 学生用図書(1971年以後発行のもの)と毎年推せんされる指定図書をNL MCの分類順に配架 ◇二階閲覧室(含むレファレンス・コーナー) 最新着雑誌の主要雑誌年間分を配架 レファレンス・コーナーを設けて抄録誌,索引誌,参考図書資料を配架	現在 新図書館建築中  (旧地学教室に仮移転して運用)

事項	館名 中央図書館 (理・農を含む)	医学分館	教養部分館
	◇新聞閲覧室 主要新聞のクリッピング、新聞縮刷版、新聞関係資料等を配架 ◇書庫2層 逐次刊行物(雑誌類)を配架 中央図書館—北側 理学部—南側 農学部—中央部 ◇書庫1層 単行本を配架 中央図書館—北側 理学部—南側 農学部—中央部	◇書庫 2層 和漢雑誌 } 誌名の 3層 } ABC順 4層 } 欧文雑誌 } 5層 } ~1970年以前 発行の図書及び 二次資料を 配架 ※旧分類図書(1954 年以前発行の図書) は保存図書館に別 置	
目録コーナー	◇全学総合目録 (和書—書名目録) (洋書—著者名目録) ◇全学逐次刊行物目録 ◇中央図書館分類目録 (NDCと旧九大分類) ◇理学部図書目録 (著者名, 書名) ◇農学部図書目録 (著者名, 書名, 分類)	◇図書目録 著者名目録 書名目録 件名目録 ◇雑誌目録	◇図書目録 著者名目録 書名目録 分類目録
レファレンスサービス	館内及び資料の利用案内、目録検索、事項調査、所在調査及び文献調査の援助	館内及び資料の利用案内、目録検索、事項調査及び文献検索の指導	館内及び資料の利用案内、目録検索、事項調査及び所在調査の指導
文献複写サービス	学術調査・研究用に使用するために必要な文献複写は一階の複写センター(相互利用掛)で受付ける。本学に所蔵しない資料が必要な場合は、他の図書館や研究機関等へ文献複写の申込を行っている。この他BLLDへ、又はJICSTなどを通して	学術調査・研究用に使用するために必要な文献複写の依頼で学内受付及び学外申込は開館時間中随時。国内未所蔵の文献の複写が必要な場合は、NLM等諸外国から直接入手することができる。	学内の校費申込のみ受付

事 項 \ 館 名	中央図書館 (理・農を含む)	医 学 分 館	教 養 部 分 館
	海外への申込も行っている。 マイクロフィッシュ撮影及び引伸しなども行っている。		
他大学図書館の利 用	他大学図書館の利用希望者には「利用願」を相互利用掛で発行する。		
設 備 利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自由閲覧室は自由に利用できる。(ただし夏季休業中は入館制限あり)</li> <li>◇語学演習室は学生及び教職員の語学演習用に3階に個別学習用オーディオブースとリングフォンを設置。各種教材、テープテキストを閲覧掛に準備。</li> <li>◇演習室 各種セミナー用(15名程度)として3室設備</li> </ul>	◇視聴覚室 16mmプロジェクター ビデオ装置	

## 附 昭53年度年史

※ 人事異動、来館者、会議等は図書館情報（14巻2号～15巻1号）を参考のこと。

### ◆ 中央図書館

4. 1 B L L D文献複写サービスの利用開始。
4. 6 入学式で附属図書館長（岡村繁教授）講演。
4. 12 学生の入館券を廃止（学生証で代用）
4. 24 保存図書館（の名称）が正式きまる。
4. 27 第111回図書館商議委員会。
4. 全学購入外国雑誌の受入業務の一括処理を受入掛（後、雑誌掛）で開始（インテリジェントACターミナル設置）
5. 11 開学記念日に文献資料等（重要文化財、貴重書、壁画など）を展示公開。
6. 1 雑誌掛の新設。
6. 3 防虫対策—全館内の害虫駆除。
6. 3～館内節水強化実施。
6. 9 語学・演習室の利用（ブース、レコーダー台数増加）予約制を廃止。
6. 12～職員語学研修会（ロシヤ語初級）20名参加。
6. 23 学術雑誌総目録自然科学欧文編1979年改訂版のデータ（1104点）提出完了。
7. 1 掛名の変更（閲覧課の参考掛を相互利用掛に、情報資料掛を参考調査掛に）
7. 1 和書目録 N C R 1977版を採用、又、国立国会図書館カードを採用。洋書目録 M A R C 頒布カードの採用を検討開始。
7. 6 第112回図書館商議委員会。
7. 17 特別図書選定委員会（文科系と中央図書館）
8. 昭53年度自然科学系外国雑誌購入費（第1種）の予算配分を受ける。
9. 11 館内節水強化を解除。
9. 14 九州地区内継続受入外国雑誌リスト作成計画決る。
9. 25～保存図書館の整備（書棚増設）
10. 5 自然科学系外国雑誌委員会（第1種、第2種）
10. 11 職員研修会（Excerpt Medicaの利用—B.P.Starn氏講演）
10. 20 分館長会議。

10. 27 学術雑誌総合目録人文・社会科学欧文編改訂版のデーター(6100点)提出完了
11. 2～進学学生に対する図書館利用に関するオリエンテーション(スライド上映)を実施。
11. 9～職員研修会(外国雑誌について)
11. 13 和装本のハードコピー作業完了(昭和53年度計画分)
11. 27 文部省の会計実地監査。
12. 1 「支子文庫」を購入。
12. 7 分館長会議。
12. 14 第113回図書館商議委員会。
  1. 18 分館長会議。
  1. 19 職員研修会(マイクロ資料に関する講習)
  1. 24 「 (大学図書館とコンピューターについて講演—松村助教授—図書館短大)
  2. 3: 和装帙作成と題簽書き作業完了(昭和53年度計画分)
  2. 9 新収洋書総合目録(国立国会図書館)用報告カード(10,103枚)1978年分送付。
  2. 10 防虫対策—全館内の害虫駆除。
  2. 13 第2回図書館運営連絡会(中央図書館, 理学部, 農学部)
  2. 19 参考調査掛の事務室を移転。
  2. 20 学生用指定図書の推薦(昭和54年度分)受付開始。
  2. 21 保存図書館の整備(書棚増設)
  2. 21～職員研修会(近世古文書研究—中村助教授)
  3. 1 「昭和53年度外国学術図書購入費による全国共同利用図書」として Charles Perrat教授旧蔵図書「ペラ文庫」を購入。
  3. 16 新聞資料室開設。
  3. 22 「江崎文庫」(故 江崎悌三 名誉教授旧蔵書)購入。
  3. 26 ドイツ連邦議会「戦後分」議事録購入(昭和53年度外国学術図書購入費による地域共同利用図書)
  3. 26 貴重図書の展示を開始(第一回は郷土史関係)
  3. 29 貴重図書(蒙古襲来画卷物, 他二点)修復完了。
  3. 31 九州地区国立大学継続受入外国雑誌目録(1979年版)刊行。

## ◆ 医学分館

4. 1 新分館長（山元寅男教授）決る。
4. 1 B. L. L. D. への文献複写申込開始。
- 3 館内職員研修（2次資料の利用について）
- 11 // //
- 17 医学部将来計画委員会（医学分館新営について）
- 20 緊急医学分館図書委員会。
- 25 教室図書担当職員連絡会議。
- 26 医学部大学院生オリエンテーション（情報探索法）
6. 8 教室図書担当職員連絡会議。
- 15 歯学部研究生オリエンテーション（情報探索法）
- 26 緊急医学分館運営委員会。
8. 3 昭和53年度自然科学系外国雑誌購入費（第2種）の予算配分を受け  
る。
9. 1 電算機導入計画に対処するため、分館の業務分析を開始。
- 11 教室図書担当職員オリエンテーション（医学分館の利用について）
10. 3 視聴覚室にビデオ装置設備。
10. 21 附属図書館及び分館の事務連絡会（部長招集）
- 25 医学図書館員セミナー実行委員会（準備会）
- 27 第9回医学分館運営委員会。
- 27 医学分館将来計画委員会。
1. 10 医学図書館員セミナー実行委員会（第1回）
2. 2 医学図書館員セミナー実行委員会（第2回）
- 24 分館業務分析終了。
- 28 医学図書館員セミナー実行委員会（第3回）

## ◆ 教養部分館

4. 2 新分館長（中村正夫教授）決る。
4. 15 玉泉館準備委員会（仮称）設定。
6. 24 図書館資料の移転場所として旧地学教室に決る。
7. 31 教養部分館の新営決定。
8. 5 施設委員会（新営問題）開催。
8. 17 総務委員会（ 〃 ）開催。
8. 29 総務委員会、施設委員会、分館運営委員会の合同委員会（新営問題）開催。
9. 14 教養部分館新営に対する基本事項の決定。
10. 18 附属図書館と教養部分館運営委員会との合同会議（新営問題）開催。
12. 22 移行措置計画まとまる。
2. 26 旧地学教室に移転開始。
3. 10 移転完了。
3. 14 分館運営委員会委員の改選。  
旧地学教室にて図書館業務を開始。

## ◻ 附属図書館刊行物（昭53年度）

### ◆ 中央図書館

1. 中央図書館利用のしおり —1978—
2. 図書館情報 Vol. 14, No.1, 2, 3, 4, (1978)
3. 九州大学外国雑誌予約目録 1978年版

### ◆ 医学分館

1. 図書館利用案内 1978年
2. 学術雑誌受入目録 1978年版
3. 学術雑誌略名表 1978年版

### ◆ 教養部分館

1. 図書館利用案内 1978年版

## 附◻ 附属図書館・部局図書室の所在地 及び代表電話番号

○箱崎地区 地区代表☎ 641-1101 (各内線番号は16頁をご覧ください)

中央図書館

(保存図書館)

〒 812 福岡市東区箱崎 6 丁目10番 1 号

時間外開館中☎ 641-2136 (直通)

学部図書室

文学部

教育学部

法学部

経済学部

〒 812 福岡市東区箱崎 6 丁目19番 1 号

理学部

農学部

工学部

〒 812 福岡市東区箱崎 6 丁目10番 1 号

時間外開館中

☎ 641-2136

(直通)

附置研究所図書室

応用力学研究所

生産科学研究所

健康科学センター

大型計算機センター

石炭研究資料センター

〒 812 福岡市東区箱崎 6 丁目10番 1 号

△本部事務局 〒 812 福岡市東区箱崎 6 丁目10番 1 号

○病院地区 地区代表☎ 641-1151 (各内線番号は16頁をご覧ください)

医学分館

歯学部

薬学部図書室

(夜間も同じ)

〒 812 福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号

○六本松地区 地区代表☎ 771-4161 (各内線番号は16頁をご覧ください)

(夜間も同じ)

教養部分館 〒 810 福岡市中央区六本松 4 丁目 2 番 1 号

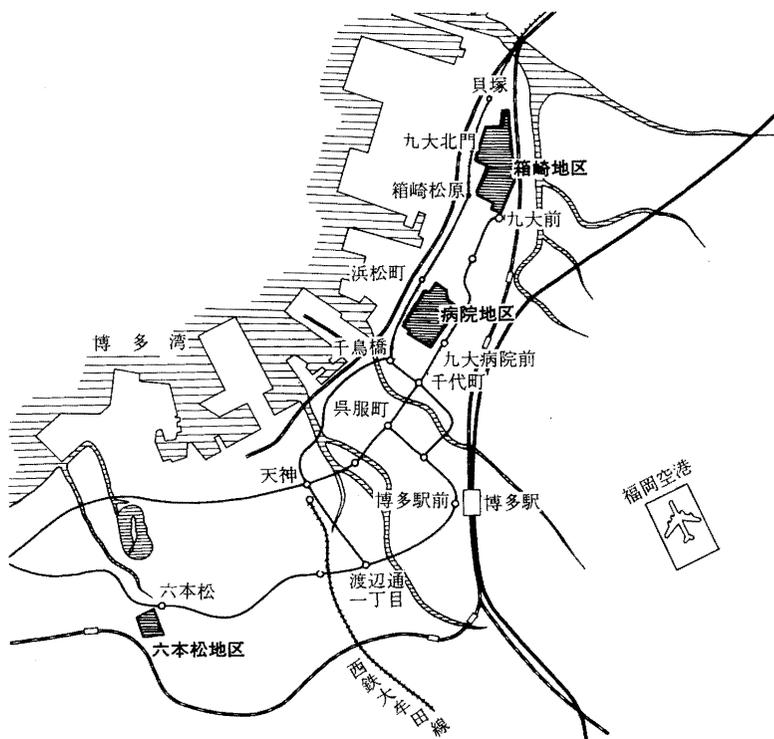
○別府地区 地区代表☎ 別府 (0977) 24-5301

温泉治療研究所図書室 〒 874 別府市大字鶴見字鶴見原4546

# (九州大学案内図)

博多駅からのバス案内 (所要時間30~40分)		
箱崎地区	バス⑩番系統	九大前下車
	バス⑮⑯番系統	箱崎松原・九大北門 下車
病院地区	バス⑩番系統	九大病院前・東営業所前下車
六本松地区	バス⑩⑮⑯⑰⑱番系統	六本松下車

- — — 国 鉄
- 新 幹 線
- — ○ バス 路 線



九州大学附属図書館概要  
1979

昭和55年2月28日発行

編集 九州大学附属図書館  
発行

〒福岡市東区箱崎6丁目10番1号

